



学校教育目標 「気づき、考え、実行する子どもの育成」
「進んで学ぶ」 「自分も友達も大切にする」 「元気いっぱい何事にもチャレンジ」

○ 大雨の対応に感謝

6月30日(金)は大雨となり、急ではありましたが保護者様に迎えに来ていただき、児童の一斉引き渡しを行いました。保護者の皆様のご協力のおかげで、混乱もなくスムーズに子どもたちを引き渡すことができました。ありがとうございました。天候が不安定で急激に変化が起こる昨今は、自然災害に対する様々な対応が必要となってきます。学校だけではできないこともあり、子どもたちの安全のために、学校と家庭と地域が連携して動くことの大切さを感じております。

○ がんばる6年生 —今回は6年生です!!—

さて、今回は中川副小最高学年の6年生に目を向けて見ました。最高学年だけであって様々な活動においてリーダーシップをとっています。右の写真は、委員会活動の様子です。6年生が下級生の意見を吸い上げ、次回の議題を設定していました。また、スピーチタイムでは積極的に手を挙げて、友達の発表に質問や意見を述べる事ができています。これまでの積み重ねが十分生かしています。次回の発表者を決めるときは、発表希望者ばかりで、誰にするか困るほどでした。そんな何事にも前向きに取り組む6年生、下級生にも優しく指導します。縦割り掃除のときは、掃除の仕方や次にやることを丁寧に教えていました。



当然、勉強も頑張っています。授業中は、よく発表をしたり、質問をしたりしています。図工など何かを考えて作ることを得意としています。黙々と作品作りに没頭し、発想豊かな作品に仕上げることができています。



6年生は小学校で過ごす時間が一日一日少なくなっていくと思います。卒業までに、どこまで成長できるか楽しみにしています。下級生にも6年生の凄さをたくさん見せてほしいところです。

○ 子どもたちの心を耕しています

★ 人権集会 6月22日(木) 野口先生のお話

この日は人権とは何かについて説明した後に、野口先生が自分のお腹に子どもを授かってから生まれるまでの話をしてくれました。お腹の中で成長していく様子を写真で示したり、出産の状況を説明したりする中で、命がいかに大切にはぐくまれこの世に誕生し、たくさんの愛情をもらいながら育てているのかを伝えていただきました。児童たちも画像を注視しながら聴くことができていました。

後半は、全校児童で「じゃんけん自己紹介」を行い、出会った人と自己紹介をしながら交流する時間を取りました。誰とでも話をつながること、相手を知ることの喜びやコミュニケーションの良さを感じた時間になりました。



★ 全校集会 6月29日(木) ①中野先生のお話

「クラスは言葉でわかる」「学校は言葉でわかる」…言葉には大きな力があり、言葉のかけ方一つで、いろいろなことが良い方に動いたり、悪い方に動いたりすることがあります。そこで、自分が発した言葉には責任を持たなければなりません。中小は、何気ない言葉で人が喜んだり、元気になったり、笑顔になったり、そして頑張れるような言葉かけができる子どもがいる学級、学校でありたいです。そのためにも、子どもたちには自分を客観視できるような力を付けていってほしいと思います。



★ 全校集会 6月29日(木) ②「将来の夢を見つけよう」

子どもたちには、将来こんな人になりたいというイメージや志を持てるようになってほしいと思っています。その一歩として、「将来の夢」(やりたい職業やしたいこと)を見つけ、その実現に向けて頑張ってもらいたいと話しました。それは、途中で変わっても、見つけるのに時間がかかっても大丈夫です。自分が「好きなこと」「得意なこと」「興味があること」「やってみたいこと」「できそうなこと」などを考え、自分探しをしていくことが大切で、その過程で夢は見えてくるのではないのでしょうか。ご家庭でも、将来の夢について話題に出していただくと嬉しいです。

○ **佐野常民と三重津海軍所跡歴史館 諸田館長さんの講話**

7月3日(月)朝の時間と1時間目の時間を使って、諸田館長さんに「博愛について」話をいただきました。日本の博愛社の設立には、中川副で生まれ育った佐野常民さんの功績が大きくかかわっています。そこで、佐野常民さん、三重津海軍所等の話を入れながら、博愛の精神がどのように私たち日本人の心に伝わっていったのかを丁寧に話してくださいました。歴史というと苦手なところもあり、敬遠しがちな私ですが、丁寧に話していただくと、人と人とのかかわりや国と国とのつながりなどが分かり、知ることっていいなあ改めて感じたところです。佐野常民という人物の熱意や努力、行動力のすごさも聞かたびに感動し、心が熱くなってきます。歴史館で、映像を見たり聞いたりした時に感動し、涙があふれてきたのを思い出しました。“敵も味方もない。そこに人がいて、困っていれば助ける。”自分自身も人として考えさせられました。



子どもたちは、どんな感想をもったでしょうか。低学年には難しい言葉もありますが、何か一つでも残っているものがあれば、次の学びにつながっていくと思います。そして、素晴らしい先人が生まれたこの中川副の地で、先人の思いに寄り添い、今、自分ができることに気づき・考え・実行する中小っ子を育てていきたいと思っています。



講演終了後に、6年生2人が諸田館長さんにインタビューをお願いしていました。質問を通して、理解を深めていました。質問に答えてくださる諸田館長さんの話を聞きながら、2人の表情が、新たなことを知った喜びに変化するのが見えました。

○ **図書館まつり頑張る・昨年度の読書活動が文部科学大臣表彰となる**

今年の図書館祭り(6/19~6/23)は「水流まつり」として行われました。図書委員さんが考えたネーミングでした。イベントとしては、まちがいさがし、すごろくゲーム、しおり作り。また、テーマに沿ったラッキーブックがつけられていました。さらに、お薦めの本を紹介するイベントに応募するという試みもありました。休み時間や図書の時間を使って楽しんで取り組んでいました。子どもたちの意欲はすごいです。

先日の委員会活動の時間には、図書委員さんが間違い探しの〇付けや集計作業などを集中して行っていました。イベントを企画してくれた図書委員の皆さん、ありがとうございました。

また、素晴らしい報告があります。昨年度の中川副小学校の読書活動の取り組みが、なんと、文部科学大臣から表彰されました。凄いことです。校長室前の廊下に飾ってありますので見てください。

読書といえば、先日、ラジオから最近の読書離れについての話が聞こえてきました。最近の人は、短い文で端的に書かれたSNS上の文に慣れすぎて、情報を素早く得たいという気持ちが先に行ってしまうというのです。読書は、私たちが実際に体験できないことでも読むことで体験につながり、考えや世界が広がります。本の中で夢を見たり、空想したり、旅をしたりすることができます。人生の道しるべになることもあるようです。夏休みには、じっくり本を読んでほしいです。



(ラッキーブックにあたるかな) (まちがいさがしに夢中) (お薦め本の紹介に応募するぞ) (すごろくに挑戦中)



(文部科学大臣からの表彰状)

★7月の学校行事

- ・12日(水)学校評議員会・13日(木) 着衣水泳(3時間目・5・6年生)地区子ども会、大掃除、5時間授業
- ・14日(金) 5時間授業・18日(火)
- ・19日(水)水曜校時4時間授業(給食あり)、第1回いじめ防止対策拡大委員会
- ・20日(木)1学期終業式
- ・21日(金) 夏季休業開始、個人面談
- ・24日(月)個人面談
- ・25日(火)個人面談